

SHARP®

ザウルスショット 取扱説明書

パソコンの準備をする	3
ウィンドウ全体をキャプチャーして読み込む	4
画面表示の一部をキャプチャーして読み込む	7
印刷イメージでキャプチャーして読み込む	9
テキストの一部をキャプチャーして読み込む ...	12
使いやすいように設定を変更する	14
ファイル名の付けかたや保存先を変更する	14
キャプチャーに使用するキー(シャッター)を変更する ...	16
画像キャプチャーの保存形式や画質を変更する ...	18
印刷イメージ取り込みの保存形式や画質を変更する ...	19
パソコンを起動したときに ザウルスショットを起動しないようにする ..	20
ザウルスショットを終了する	21
アンインストールする	21

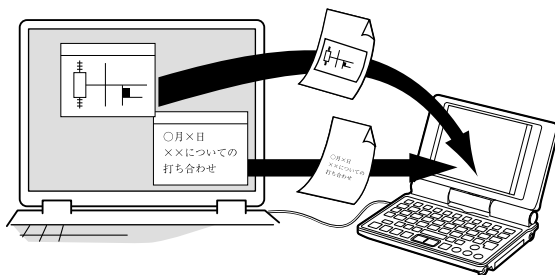
Zaurus

パソコンの画面表示をキャプチャーしてこの製品に読み込んだり、パソコンで作成したテキストの一部をこの製品に読み込んだりできます。

読み込んだ画像やテキストは、この製品で編集したり、HancorMobileWordに貼り込んだりできます。

たとえば、次のようなことができます。

- パソコンに地図などを表示させ、必要な部分だけやアクティブウィンドウを読み込んで、外出先で確認できます。
 - ・ アクティブウィンドウを読み込む(☞4ページ)
 - ・ 必要な部分だけを読み込む(☞7ページ)
 - ・ 印刷するときのイメージで、ページ単位を読み込む(☞9ページ)
- ワープロ文書などから、必要な部分(テキスト)だけ読み込んで持ち運べます(☞12ページ)。



- ザウルスショットを使い、画面やテキストをキャプチャーするときは、パソコンとザウルスが接続されていない状態で、「PCリンク」画面の接続方式で「PC連携方式」を選んでください。くわしくは『アプリケーションマニュアル.pdf』「設定」の「PCリンク」をご覧ください。

パソコンの準備をする

ザウルスショットを使うには、ザウルスショットなどをパソコンにインストールする必要があります。

インストールされた方は、次ページをご覧ください。

まだインストールしていない方は、『はじめにお読みください』をご覧になりインストールしてください。

これ以降、ザウルスショットなどをインストールしているものとして説明します。

また、この製品とパソコンの接続については『取扱説明書』の「パソコンと接続する」をご覧ください。




- **ソフトウェアをインストールしたときに「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は**

『はじめにお読みください』をお読みになりソフトウェアをインストールしたときに、「USB接続(ネットワーク)」を選択した場合は、以下の操作を行ってください。

- ・ ザウルス側の操作として、PCリンク画面を表示し、通信方式を「USB接続(ネットワーク)」に変更してください(※『アプリケーションマニュアル.pdf』『設定』の「PCリンク」)。
- ・ パソコン側の操作として、ザウルス通信マネージャー(※『ザウルスドライブ取説.pdf』『ザウルス通信マネージャーを使う』)を表示し、通信方式が「USB接続(ネットワーク)」になっていることを確認します。

なお、インストールしたときに「USB接続(シリアル通信)」を選択した場合は、通常、この操作は必要ありません。

- ザウルスショットは、常駐ソフトです。パソコンを立ち上げると、自動的にザウルスショットが起動しタスクバーに  アイコンが表示されます。

パソコン立ち上げ時にザウルスショットの起動を止め、タスクバーにアイコンを表示しないように設定を変更することができます。


この設定の変更は、環境設定画面で行います。くわしくは、20ページをご覧ください。

また、ザウルスショットが起動していないとき、起動する方法は、[スタート]をクリックし、[(すべての)プログラム]-[Sharp Zaurus 2]-[ザウルスショット]-[ザウルスショット]をクリックします。

ザウルスショットが起動し、タスクバーに  が表示されます。

- バックアップ/リストア、ザウルスドライブは[スタート]ボタンをクリックして起動するか、インストール時にデスクトップ上にできたショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。くわしくは、『バックアップ-リストア取説.pdf』や『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。
- この製品のザウルスショットは、SL-A300には対応していません。




- 画面やテキストをキャプチャーするときは、ザウルスショット使用方法画面( アイコンを右クリックし、メニューの「ヘルプ」をクリックして最初に表示される画面)を開いてから行ってください。
- マルチモニター(マルチディスプレイ)環境でザウルスショットをお使いの場合には、キャプチャー対象をプライマリモニター(1台目のディスプレイ)に表示してください。プライマリモニター以外に表示されている画面は、ザウルスショットでキャプチャーできません。

ウィンドウ全体をキャプチャーして読み込む

パソコンの最前面のアクティブなウィンドウをキャプチャーしてザウルスに読み込みます。


読み込んだ画像は、JPEGファイル(またはBMPファイル)になります。

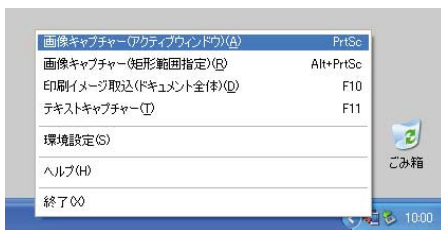
- 1 パソコンのタスクバーに  が表示されていることを確認します。
- 2 ザウルスの電源を切ります。
- 3 パソコンにザウルスを接続します。
接続の方法は『取扱説明書』「基本的な使いかた」の「パソコンと接続する」をご覧ください。
- 4 ザウルスの電源を入れ、しばらく(約10~15秒)待ちます。
- 5 読み込むウィンドウをクリックしてアクティブな状態にします。



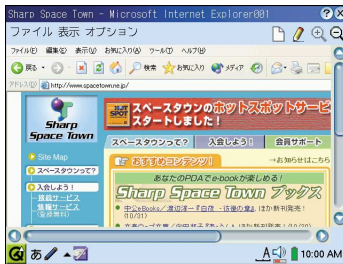
- 6 パソコンのキーボードの [PrtSc]を押します。
手順5でアクティブにしている画面が、自動的にザウルスに転送されます。



- 手順6で、代わりにタスクバーの  を右クリックし、メニューの「画像キャプチャー(アクティブウィンドウ)」をクリックしても同じ働きをします。



7 しばらくすると、ザウルスのイメージノートが自動的に起動し、キャプチャーした画像を表示します。



キャプチャーした画像は1つのファイルとなり、ファイルホーム画面の「Image_Files」フォルダの中に入ります。

この画像はイメージノートで加筆(修正)できます(1024×768ドットを超えるサイズの画像は、加筆(修正)できません)。

8 パソコンからザウルスを取り外します。

取り外しについては、『取扱説明書』『基本的な使いかた』の「パソコンと接続する」をご覧ください。



- 転送が終了してイメージノートに画像が表示されるまでは、ザウルス进行操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。また、ザウルスショットを使うときは、ACアダプターを必ず接続してください。
- キャプチャーできるのは、パソコンの画面に表示している部分だけです。アクティブウィンドウの中でも、スクロールしないと見えない部分やパソコンの画面から外に出て見えない部分はキャプチャーできません。また、動画もキャプチャーできません。画面の内容をすべてキャプチャーするときは、9ページをご覧ください。
- **【PrtSc】をキャプチャーなどに設定していると、Windows本来の【PrtSc】(Print Screen)キーでの画面キャプチャー機能は使えません。**
Windows本来の【PrtSc】キーで画面キャプチャーを行うためには、ザウルスショットを終了するか、ザウルスショットの画面キャプチャーのキーを変更してください。キーの変更は環境設定画面(☰ 16ページ)で行います。
【F10】なども同様なことが起こりますので、必要に応じてキーを変更してください。
- Movie Playerで動画を再生しているときは、ザウルスショットを使うことはできません。動画を停止してからザウルスショットを使ってください。



- ザウルスにシークレットを設定しているときは、ザウルス通信マネージャーの暗証番号設定をするとザウルスショットを使うことができます。くわしくは、『ザウルスドライブ取説.pdf』をご覧ください。
- 転送した画像は、カレンダーのスケジュールに関連づけることができます。くわしくは『取扱説明書』の「カレンダー」の章や『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章をご覧ください。
- **キャプチャーした画面をSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存するには**
ザウルスショットをインストールしたとき、保存先は「本体メモリー」になっていますが、ザウルスにSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードを装着するとSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存することもできます。
保存先の変更は、環境設定画面（「保存先」タブ）で行います。くわしくは、14ページをご覧ください。
- パソコンの電源を切るときは、ザウルスの電源を切るかザウルスからUSBケーブルを取り外してからパソコンの電源を切ってください。

画面表示の一部をキャプチャーして読み込む

画面表示から必要な部分だけキャプチャーして読み込みます。
読み込んだ画像は、JPEGファイル(またはBMPファイル)になります。

1 キャプチャーしたい画面を表示します。

ここでは、シャープ(株)のホームページを開き、東京市ヶ谷ビルの地図を表示します。

2 タスクバーの を右クリックし、メニューの「画像キャプチャー(矩形範囲指定)」をクリックします。



マウスポインタの形が十に切り替わります。

3 マウスをドラッグして読み込む範囲を指定します。

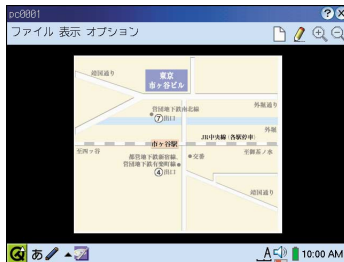
①マウスポインタをここに
移し、クリックした
ままにします

②ドラッグしてこの位置
でボタンを
離します



指定した範囲がキャプチャーされ、自動的にザウルスに転送されます。

4 しばらくして、ザウルスのイメージノートが自動的に起動し、キャプチャーした画像を表示します。



キャプチャーした画像は1つのファイルとなり、ファイルホーム画面の「Image_Files」フォルダの中に入ります。
この画像はイメージノートで加筆(修正)できます(1024×768ドットを超えるサイズの画像は、加筆(修正)できません)。

5 パソコンからザウルスを取り外します。

取り外しについては、『取扱説明書』「基本的な使いかた」の「パソコンと接続する」をご覧ください。



- 転送が終了してイメージノートに画像が表示されるまでは、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。また、ザウルスショットを使うときは、ACアダプターを必ず接続してください。



- 手順2の代わりに、パソコンの【Alt】+【PrtSc】キーを押しても、同じ働きをします。また、【Alt】+【PrtSc】を別のキーに変えることもできます。くわしくは16ページをご覧ください。
- 転送した画像は、カレンダーのスケジュールに関連づけることができます。くわしくは、『取扱説明書』の「カレンダー」の章や『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章をご覧ください。
- **キャプチャーした画面をSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存するには**
ザウルスショットをインストールしたとき、保存先は「本体メモリー」になっていますが、ザウルスにSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードを装着するとSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存することもできます。
保存先の変更は、環境設定画面(「保存先」タブ)で行います。くわしくは、14ページをご覧ください。

印刷イメージでキャプチャーして読み込む

パソコンの各種アプリケーションソフトウェアなどで、印刷するときのようなイメージでキャプチャーして、ザウルスに取り込みます。

たとえば、パソコン上でワープロソフトを起動し文章ファイルを表示しているときにこの機能を使うと、文章ファイルの各ページがそれぞれ1つの画像ファイル（JPEG形式）としてザウルスに取り込まれます（ザウルスでは、文章のページ数だけの画像ファイルができます）。


ウインドウ全体のキャプチャー（※4ページ）では、画面に見えている部分だけを画像ファイルとして取り込みますが、この機能は印刷の設定にしたがって印刷時の1ページを1ファイル（画像ファイル）として取り込みます。読み込んだ画像ファイルは、JPEGファイルになります。

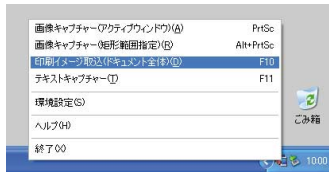
1 キャプチャーしたいアプリケーションを表示します。

2 パソコンのキーボードの[F10]を押します。

アプリケーションの印刷画面が表示されます。



- タスクバーの  を右クリックし、メニューの「印刷イメージ取込(ドキュメント全体)」をクリックしても同じ働きをします。



3 アプリケーションの印刷画面で、プリンタ名が「Zaurus」であることを確認します。

「Zaurus」が選ばれていないときは、「Zaurus」を選択します。



プリンタ名

通常、アプリケーションソフトウェアの用紙サイズのままキャプチャーされます。用紙サイズを変更したいときは、プロパティ画面で変更できます（※19ページ）。

※印刷の画面はアプリケーションやWindowsのバージョン（XPやMeなど）によって異なります。

4 [OK]をクリックします。

アプリケーションによっては[印刷]などをクリックします。

5 印刷と同じようなイメージでページ単位で画像ファイルが作られ、自動的にザウルスに転送されます。

キャプチャーした画像は1ページ単位で1つの画像ファイルとなり「Image_Files」フォルダの中に入ります。

複数のページにわたる場合は、(ご購入時の設定として)自動的に「Image_Files」フォルダの中にフォルダが作られて、各画像ファイルはそのフォルダに入ります。

この画像はイメージノートで加筆(修正)できます(1024×768ドットを超えるサイズの画像は、加筆(修正)できません)。

6 パソコンからザウルスを取り外します。

取り外しについては、『取扱説明書』の「パソコンと接続する」をご覧ください。



- 転送が終了するまでは、ザウルスを操作したり電源を切ったり、USBケーブルからザウルスを取り外さないでください。
また、ザウルスショットを使うときは、ACアダプターを必ず接続してください。



- ページの設定は、手順3の印刷画面の「プロパティ」などをクリックして表示される用紙サイズにしたがいます。
- 転送した画像は、カレンダーのスケジュールに関連づけることができます。
くわしくは、『取扱説明書』の「カレンダー」の章や『アプリケーションマニュアル.pdf』の「カレンダー」の章をご覧ください。
- パソコン上で1ページに表示されていても、印刷イメージでキャプチャーすると2ページ以上になることがあります。
Microsoft Excel/Wordの場合は、次の手順で、キャプチャーする前に1ページ(1ファイル)に収まる内容を確認することができます。
 - 1 Microsoft Excel/Wordのキャプチャーしたい画面を表示させ、[ファイル]メニューの[印刷]をクリックし、表示された印刷画面でプリンタ名を「Zaurus」に変更して、画面右上の (閉じる) をクリックします(印刷画面で[OK]をクリックするとキャプチャーされますので、 をクリックしてください)。
 - 2 [ファイル]メニューの[印刷プレビュー]をクリックします。プレビュー画面で表示されている内容が、印刷イメージでキャプチャーしたときの1ページ(1ファイル)になります。
 - 3 「印刷プレビュー」の画面で (閉じる) をクリックして元の画面に戻り、印刷イメージでキャプチャーします。

ご注意: 印刷画面でプリンタ名を「Zaurus」に変更したままにすると、普通のプリンタへの印刷ができません。上記の操作を行ったあとは、必ず、(手順3の)印刷画面でプリンタ名を元のプリンタ名に戻してください。



- ザウルスショット以外のソフトウェアが【F10】を使っているときは、そのソフトウェア用の【F10】は使えなくなります。このようなときは、ザウルスショットを終了するか、ザウルスショットの印刷イメージキャプチャーのキーを変更してください。キーの変更は環境設定画面(☞16ページ)で行います。
- **キャプチャーした画面をSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存するには**
ザウルスショットをインストールしたとき、保存先は「本体メモリー」になっていますが、ザウルスにSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードを装着するとSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存することもできます。
保存先の変更は、環境設定画面(「保存先」タブ)で行います。くわしくは、14ページをご覧ください。
- GIF形式の画像が貼りついている文章ファイルなどを印刷イメージでキャプチャーして読み込むとき、解像度を「小さな文字用(96dpi)」(手順3の印刷画面の「プロパティ」)をクリックして表示される画面で解像度を「小さな文字用(96dpi)」にすると、GIF形式の画像がまっ黒になります。このようなときは、解像度を「普通の文字用(72dpi)」などに変えてからキャプチャーしてください。

ザウルスショットで、印刷ドキュメントをJPEG画像に出力する機能は、グレーシティ株式会社が販売する「LEADTOOLS ePrint Printer Driver」の技術を利用して実現されています。「LEADTOOLS ePrint Printer Driver」の製品版は、JPEG画像出力以外にも豊富な機能が搭載されています。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

「LEADTOOLS ePrint Printer Driver」の製品版

ホームページ： <http://www.grapecity.com/japan/LEADTOOLS/eprint/>

LEADTOOLS ePrint Printer Driver

開発元： LEAD Technologies, Inc.

ホームページ： <http://www.leadtools.com/>

日本語版開発： グレーシティ株式会社

ホームページ： <http://www.grapecity.com/japan/>

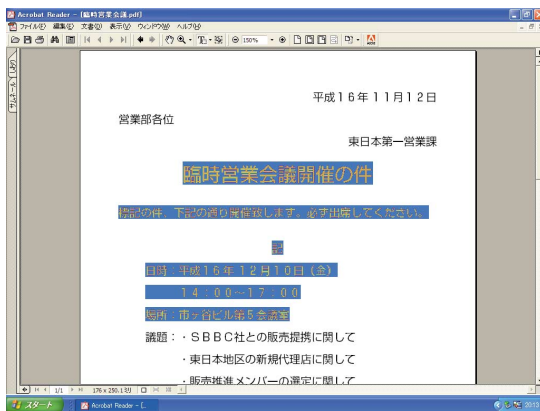



テキストの一部をキャプチャーして読み込む

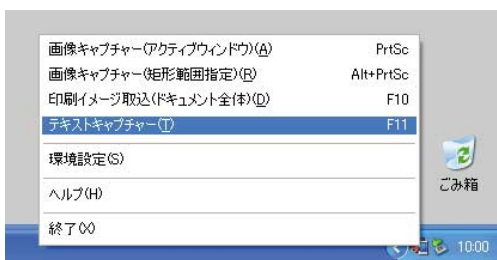
ワープロ文書などから、必要な文字だけ読み込みたいというときに便利です。
読み込んだテキストはテキストファイルになります。

1 ワープロソフトなどを起動し、読み込むテキストを開きます。

2 マウスをドラッグして読み込む範囲を指定します。

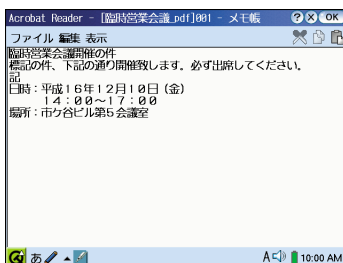


3 タスクバーの  を右クリックし、メニューの「テキストキャプチャー」をクリックします。



指定した範囲がキャプチャーされ、自動的にザウルスに転送されます。

4 しばらくすると、ザウルスのメモ帳が自動的に起動し、キャプチャーしたテキストを表示します。



テキストファイルは、ファイルホーム画面で確認できます。
キャプチャーしたテキストは1つのファイルとなり、ファイルホーム画面の「Text_Files」フォルダの中に入ります。
このテキストは、メモ帳で修正できます。

5 パソコンからザウルスを取り外します。


取り外しについては、『取扱説明書』『基本的な使いかた』の「パソコンと接続する」をご覧ください。



- 手順3の代わりに、パソコンの【F11】キーを押しても、同じはたらきをします。
- 読み込めるのはテキストと改行コードだけです。ワープロソフトで指定した属性(フォントや段落、スタイルなど)は無視されます。
- パソコンのソフトウェアを使って文書作成時などに、文章のコピー/ペーストをしている途中でザウルスショットのテキストキャプチャーをすると、コピーした内容がクリップボードから消えます。
- キーを押して操作するとき(【F11】キーなど)、文書を開いているソフトウェアが同じキーを使っている場合、キャプチャーは行なわれず、文章を開いているソフトウェアのキーとして働くことがあります。
このようなときは、ザウルスショットを終了するか、ザウルスショットのテキストキャプチャーのキーを変更してください。キーの変更は環境設定画面(☞16ページ)で行います。
- **キャプチャーしたテキストをSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存するには**
ザウルスショットをインストールしたとき、保存先は「本体メモリー」になっていますが、ザウルスにSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードを装着するとSDメモリーカードやコンパクトフラッシュメモリーカードに保存することもできます。
保存先の変更は、環境設定画面(「保存先」タブ)で行います。くわしくは、14ページをご覧ください。

使いやすいように設定を変更する

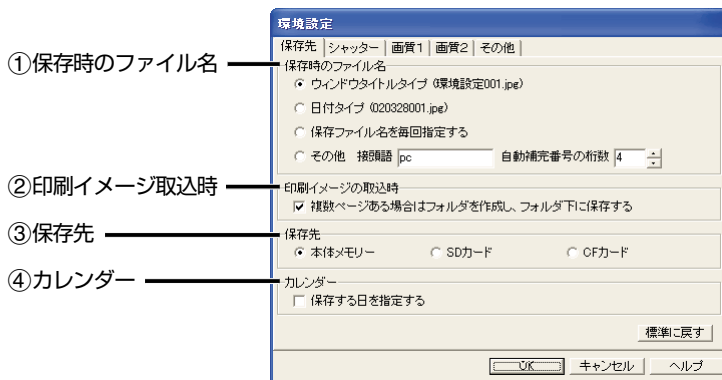
ファイル名の付けかたや保存先を変更する

- 1 タスクバーの  を右クリックし、メニューの「環境設定」をクリックします。

「環境設定」画面が表示されます。

- 2 「保存先」タブをクリックします。

保存時のファイル名の付けかたや、保存先を変更できる画面が表示されます。



- ①保存時のファイル名 「ウィンドウタイトルタイプ」

アクティブにしているウィンドウのタイトルから、自動的にファイル名がついて保存されます。

たとえばタイトルに「map」と表示されている画像を1番目にキャプチャーしたときは「map001」となります。矩形範囲指定(≡7ページ)の場合は、「Desktop001」などとなります。

「日付タイプ」

キャプチャーしたときの日付から、自動的にファイル名がついて保存されます。

たとえば「2004年11月15日にキャプチャーした1番目の画像」は「041115001」となります(下3桁は連番)。

「保存ファイル名を毎回指定する」

キャプチャーのあと、ファイル名入力画面が表示されます。好みの名前を入力し、[OK]をクリックします([キャンセル]をクリックすると転送されません)。

(次ページへ続く)

「その他」

ファイル名の先頭に付ける語句と連番の桁数を設定しておく、設定したルールに従って自動的にファイル名がついて保存されます。

-
- ②印刷イメージ取込時 チェックをつけて「印刷イメージでキャプチャーして読み込む」(9ページ)を行うと、画像データが複数ページに渡る場合、自動的にフォルダを作成してそのフォルダ内に保存します。

フォルダ名やファイル名は、前ページの「保存時のファイル名」の設定になります。

-
- ③保存先 本体メモリーやSDメモリーカード、コンパクトフラッシュメモリーカードを選びます。

-
- ④カレンダー

「保存する日を指定する」

チェックをつけて、画像キャプチャーなどを行うと、そのファイルを保存する日を指定するカレンダー画面が表示されます。カレンダー画面で日付を指定し、[OK]をクリックします。

保存する日を指定すると、その日のカレンダーの1日表示画面(指定した日)のファイルリンク画面に表示されます。


チェックをつけていないときは、画像キャプチャーなどを行うと、キャプチャーを行った日がファイルを保存する日になります。

3 設定の変更を終えたら、[OK]をクリックします。

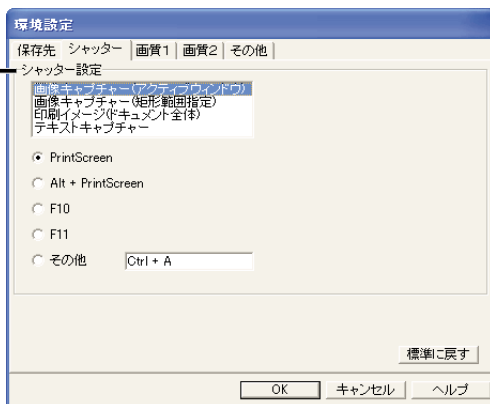


- ご購入時の状態に戻すには、[標準に戻す]をクリックします。

キャプチャーに使用するキー(シャッター)を変更する

- 1 タスクバーのを右クリックし、メニューの「環境設定」をクリックします。「環境設定」画面が表示されます。
- 2 「シャッター」タブをクリックします。キャプチャーに使用するキーを変更できる画面が表示されます。

① シャッター設定



① シャッター設定

「画像キャプチャー(アクティブウィンドウ)」、「画像キャプチャー(矩形範囲指定)」、「印刷イメージ(ドキュメント全体)」、「テキストキャプチャー」の操作を、パソコンのキーボードを使って行えるように設定します。ご購入時は、【PrtSc】(PrintScreen)キーを押すとアクティブウィンドウをキャプチャーし、【Alt】+【PrtSc】(Alt+PrintScreen)キーを押すと「画像キャプチャー(矩形範囲指定)」、「F10】キーを押すと「印刷イメージ(ドキュメント全体)」、「F11】キーを押すと「テキストキャプチャー」になっています。

これらのキー操作は、変更することができます。

たとえば、「テキストキャプチャー」のキー操作を変更したいときは、シャッター設定の下の枠内から、「テキストキャプチャー」を選択(反転)して、「その他」のラジオボタンにチェックをつけ、カーソルを表示させた状態で、【W】などのキーを押します(枠には「Ctrl+W」と表示されます)。これで、【Ctrl】+【W】を押すとテキストキャプチャーが行われます。アルファベットキーなどを押すと、自動的に「Ctrl」がつかます。

- 3 設定の変更を終えたら、【OK】をクリックします。



- **【Delete】**キー、スペースキーなどの特殊キーは、「その他」に登録できません。
- ご購入時の状態に戻すには、**[標準に戻す]**をクリックします。



- **【PrtSc】**をキャプチャーなどに設定していると、Windows本来の**【PrtSc】**(Print Screen)キーでの画面キャプチャー機能は使えません。

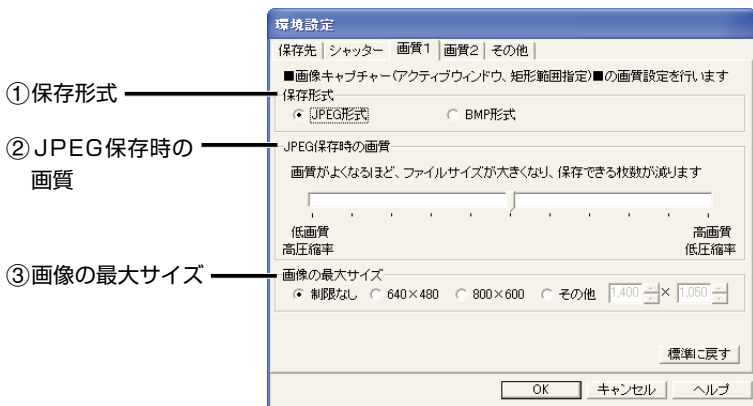
Windows本来の**【PrtSc】**キーで画面キャプチャーを行うためには、ザウルスショットを終了するか、ザウルスショットの画面キャプチャーのキーを変更してください。

【F10】、**【F11】**も同様なことが起こりますので、必要に応じてキーを変更してください。

画像キャプチャーの保存形式や画質を変更する

「画質1」タブは、画像キャプチャー（アクティブウィンドウ）と画像キャプチャー（矩形範囲指定）を使ってキャプチャーするときの保存形式や画質などを変更します。

- 1 「環境設定」画面（[図 14](#)ページ）で「画質1」タブをクリックします。
画像キャプチャー時の保存形式や画質を変更できる画面が表示されま
す。



- ①保存形式 JPEG形式またはBMP形式を選びます。
この選択は、4ページと7ページの方法でキャプチャーしたときの選択です。9ページの方法では、JPEG形式のみになります（[図 15](#)次ページ）。
- ②JPEG保存時の画質 保存形式にJPEGを選んだときのみ有効です。スライダーをドラッグして変更します。
高画質にするほど、ファイルサイズは大きくなります。
- ③画像の最大サイズ 画像のサイズを選びます。
指定したサイズで、ザウルスに転送します（この指定したサイズで、ザウルスのイメージノートに保存されます）。
キャプチャーした画像が指定したサイズより大きい場合は、指定サイズに収まるように縮小します。

- 2 設定の変更を終えたら、[OK]をクリックします。

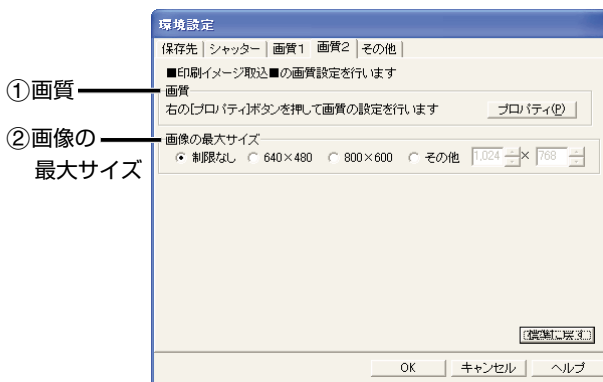


- ご購入時の状態に戻すには、[標準に戻す]をクリックします。

印刷イメージ取り込みの保存形式や画質を変更する

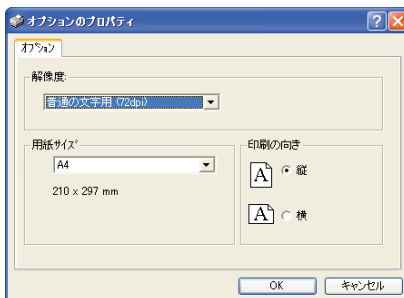
「画質2」タブは、印刷イメージ取込(ドキュメント全体)を使ってキャプチャーするときの画質などを変更します。

- 1 「環境設定画面」(14ページ)で「画質2」タブをクリックします。
印刷イメージ取り込み時の画質や画像サイズを変更できる画面が表示されます。画像の保存形式はJPEG形式になります。



①画質

[プロパティ]をクリックすると、印刷の解像度や印刷サイズ、印刷方向を設定できます。
アプリケーションから印刷した場合、用紙サイズと印刷方向の設定はこの内容は反映されず、アプリケーション側の印刷設定が優先されます。
環境設定から解像度、用紙サイズの設定は、用紙設定がないソフトウェア用のものです。



②画像の最大サイズ

画像のサイズを選びます。
指定したサイズで、ザウルスに転送します(この指定したサイズで、ザウルスのイメージノートに保存されます)。キャプチャーした画像が指定したサイズより大きい場合は、指定サイズに収まるように縮小します。

2 設定の変更を終えたら、[OK]をクリックします。

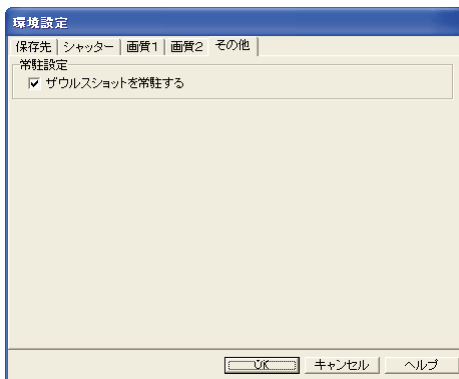


- ご購入時の状態に戻すには、[標準に戻す]をクリックします。

パソコンを起動したときにザウルスショットを起動しないようにする

最初、パソコンを起動すると、自動的にザウルスショットも起動しタスクバーにアイコンを表示する設定になっています。これを、パソコンを起動してもザウルスショットを起動しないように変更できます。

1 「環境設定」画面(☞14ページ)で「その他」タブをクリックします。





2 「ザウルスショットを常驻する」のチェックを外します。

3 [OK]をクリックします。



- パソコンを起動したときにザウルスショットも起動するように戻すには再度、「ザウルスショットを常驻する」にチェックをつけます。


ザウルスショットを終了する

- 1 タスクバーの  を右クリックし、メニューの「終了」をクリックします。ザウルスショットが終了しタスクバーから  が消えます。



- もう一度ザウルスショットを起動するには

[スタート]をクリックし、[(すべての)プログラム]—[Sharp Zaurus 2]—[ザウルスショット]—[ザウルスショット]をクリックします。

ザウルスショットが起動し、タスクバーに  が表示されます。

アンインストールする

ザウルスショットなどが不要になったときなどに、アンインストールすることができます。

以下の操作を行うと、ザウルスショット、ザウルスドライブ、バックアップ／リストア、Intellisync for Zaurusが削除されますので、ご注意ください。

- 1 コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」(Windows XPの場合は、「プログラムの追加と削除」)画面を表示します。コントロールパネルの表示方法は、パソコンの取扱説明書などをご覧ください。
- 2 この画面のリストから「Sharp Zaurusソフトウェア」を選択し、[追加と削除]または[変更と削除]や[変更／削除]ボタンをクリックします。
- 3 確認画面を読み[OK]をクリックします。
- 4 表示された画面で、[削除]のラジオボタンにチェックをつけ、[次へ]をクリックします。表示される画面の指示にしたがって、操作します。インストールされていたソフトウェアがすべて削除されます。



- この操作を行うと、ザウルスショット、ザウルスドライブ、バックアップ／リストア、Intellisync for Zaurusが削除されます。個別にソフトウェアを削除するときは、『はじめにお読みください』の「パソコンにソフトをインストールする」をご覧ください。